



■平田ロータリークラブ 事務局 9:00 ～ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)
〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 FAX : 63-5365
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

2025-26 年度 国際ロータリー会長 / フランチェスコ・アレツツォ 「よいことのために 手を取りあおう」

2690地区ガバナー / 坂口 元昭 (米子南RC)

会長 / 土江 光二

副会長 / 大島 淳司

幹事 / 三好 洋平

会 計 / 小汀 泰之

■■■ 例会プログラム ■■■

	卓 話 者	演 題
9 月 4 日	第4グループ ガバナー補佐 池淵 俊雄 様	
9 月 11 日	米山記念奨学生 段 安苗 様	感謝とつながり 異文化交流から学んだこと
9 月 18 日	休 会	
9 月 25 日	第2690地区 地区ガバナー 坂口元昭 様	地区ガバナー公式訪問例会
10 月 2 日	NPO 法人ひらた空き家再生舎 代表 吉岡拓也 様	

■■■ 出席報告 ■■■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
37	29	8	78.38

■■■ 欠席者 ■■■

安食洋・福田智・飯塚大・原伸・石原・大國・大谷良・園山

■■■ 来訪者 ■■■

池淵俊雄ガバナー補佐・北脇樹二グループ幹事(出雲南)

■■■ メークアップ ■■■

8/27 加藤(大社)

■■■ 次回例会 受付当番 ■■■

(9 月 11 日) 福田智恵子 / 小汀泰之 / 大島淳司

(9 月 25 日) 川上 亨 / 大島卓爾 / 大谷厚郎

■■■ 近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう) ■■■

月	出雲中央 9/8 9/29(-)	松江南 9/29 9/1・22(-)
火	出雲 9/16(-)	松江しんじ湖 9/2・16・10/14
水	大社 9/10・24 9/17(-)	松江 9/17・10/15・29(-)
木	(-) ; ビジター受付なし	松江東 9/25・10/16・30(-)
金	出雲南 9/19 9/26(-)	

■■■ 会長挨拶 ■■■



皆様こんにちは、本日のお客様をご紹介します。
国際ロータリー第2690地区 第4グループガバナー補佐
池淵俊雄様、グループ幹事 北脇樹二様です。
大変お忙しい中、平田クラブにお越しいただきましてありが
とございます。

第4グループ最後の訪問例会という事で、お疲れのことと思いますがどうぞ宜しくお願い致します。

池淵ガバナー補佐様には、この後スピーチ、また例会後にはクラブ協議会でクラブ運営に関しましてご指導を頂く予定です。長時間になりますが、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今日はお米についてお話ししたいと思います。

古米、古古米として、備蓄米を放出した事で日本全体が米不足だと、騒ぎになっています。いわゆる「令和の米騒動」として注目された米の需給問題は、単なる一過性の問題ではなく、供給力の低下と需要の変化が重なった深刻な課題で

あると言われています。供給面では、長年続いた減反政策や気候変動、労働力不足などが生産に大きな影響を及ぼしている。一方、食生活の多様化や人口減少により需要は長期的に縮小している。さらに近年は、インバウンドや物価高による家庭内需要の回復により、需給バランスは複雑化しています。

皆さん、米は作ったことがありますか？また、現在作っておられますか？

僕は、平田スポーツ公園東側のたんぼで12年前から米を作っています。

作った米は JA を通さずにお酒(酒持田)、甘酒、あとは大社の店で販売をしています。

昨今、米の価格が注目されていますが、私が行う米作りとはどんなものか紹介したいと思います。

米作りは、土作りから収穫までの一連の工程を経て行われます。主な工程は、土作り、種まき、田植え、管理、収穫、乾燥です。

1. 土作り

米作りの第一歩は、田んぼの準備です。春には雑草を耕して土を整えます。土壌の肥沃度を高めるために、堆肥や肥料を施します。うちはここでかきりを散布します。

2. 種まき 外注にお願いしている。

3. 田植え

5 月下旬に田植えを行います。苗を適切な間隔で植えることが重要で、密植や疎植に注意します。田植え後は、水管理や追肥、病害虫の防除を行い、稲の成長をサポートします。

4. 管 理

稲が成長する過程で、日々の管理が必要です。水の管理や肥料の追加、病害虫の防除を行い、稲が健康に育つようにします。特に、夏の間は稲が成長し、しっかりとした株に育てることが重要です。

5. 収 穫

10 月に稲が成熟し、収穫の時期を迎えます。稲刈りは、田んぼ全体のもみが90%近く黄色くなった時が目安です。収穫後は、乾燥調整を行い、米を保存します。

余談ですが「実るほどこぶを垂れる稲穂かな」と言うことわざがありますが、この時期のお米を表しています。意味は皆様ご承知の通り、学問や技能が深まった人ほど、かえって他人に対して謙虚になるたとえ(頭を下げる)ですね。

6. 加工

収穫したお米は、精米されて消費者のもとへ届けられます。米作りは、農家の方々の多大な努力と時間が込められた作業であり、私たちの食卓に欠かせない存在です。

このように、米作りは多くの工程を経て行われる大変な作業ですが、丁寧に育てられたお米は私たちの食生活に欠かせないものです。

この工程を踏まえて、現在話題になっているお米の価格を考えてみてはいかがでしょうか。

因みに僕は、5kg(3500円～3800円)が妥当かなと考えながらテレビの前で騒いでいます。今後、圃場整備も進み水稻栽培も効率化を計り、若手就労者が増えてくる1次産業になるかなと思っています。

本日は以上になります。

■■■■ 幹事報告 ■■■■

1. 地区ガバナー坂口元昭様より

クラブ元ガバナー補佐・会長(元・現・エレクト)へ

第54回ローター研究会のご案内

日にち 11/17(月)～11/20(木)

会 場 パシフィコ横浜

締め切り 9/30(火)

ご希望の方 事務局まで

2. 地区大会登録について

皆様のご協力により22名(60%)の方に登録
いただきました。

登録料(15,000円)は8月分諸経費として明日9/5引き落としをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

3. 7月末で退会されました福田磨寿穂会員より

在籍の間皆様に大変お世話になりましたとお礼を頂戴いたしました。

■■■■ 委員会報告 ■■■■

出席親睦委員会 : 9月の会員誕生
伴侶誕生祝い

プログラム委員会 : 9・10月プログラム
予定表配布

■■■■ スマイル ■■■■

池淵ガバナー補佐・北脇グループ幹事

(本日は、例会および例会後のクラブ協議会に
訪問をさせていただきました。一年間ご支援・
ご協力をよろしくお願い致します。)

出席者全員スマイル

(メンバー一同お世話になりっぱなしで。ガバナー補佐の一年間のご苦勞に、
励ましと感謝を込めて。)

■■■■ 例会プログラム ■■■■

池淵俊雄 ガバナー補佐 卓話

皆さん、こんにちは。本日はこのような機会を賜りありがとうございました。
先般の5クラブ合同例会には大勢の皆様にお出いただき感謝申し上げます。
ここ平田の町は歴史と文化の宝庫ですね。
木綿街道に残る昔ながらの街並みや立派な本石橋邸、そして松江半の本陣と
して多くの人を迎え入れてきた木佐本陣。さらには「酒の神様」を祀る佐香神社
もあり、古くから人々の暮らしと祈りをささえてきました。そうした歴史と文化に富ん
だ平田で半世紀余り、地域に根差した奉仕活動を続けて来られた諸先輩、皆
様に敬意を捧げたいと存じます。

少しだけ自己紹介をします。私の職業分類は写真館です。建築家になろうと
思って東京に出ましたが、元々手先が器用だったものから、結局、趣味が高



じて、親に逆らって、写真の道を選びました。
縁のあったところに30歳になったら独立する
という条件で。しかし、実際に入ってみるとな
かなか大変です。写真で稼がなきゃいけない
というのを考えもせず、本当に楽な感じで決
めたもので、失敗したなということばかり思
っていました。カメラも持たせてもらえず、
今日は庭の草刈り、今日は倉庫で釘の整理。
もう本当に倉庫で立っていました。でも社
長にも恵まれましたし、上司にも恵まれて、
好きなことをさせていただきました。本
当に充実した修業期間だったと思います。

ただ、創業した時には、やっぱり仕事もなくて、色々な方々に声を掛けていた
けど西も東も分からないままスタートしたんですが、先輩からは、PTAをやらない
と呼ばれて、子供が小学校1年生の時から卒業するまで、終わったなと思っ
たら、中学校。中学校が終わったなと思ったら高校。高校が終わったなと思っ
たら卒業生会まで託していただきました。お陰様で高校では卒業生会の会
長を仰せつかりました。なった途端、甲子園行きが決まりました。お金
を集めに暑い最中、東奔西走し、皆様に援助していただきました。

寄付集め一つにしても、もちろん一人では出来ません。しかし、た
くさんの人がそれを理解して、努力をしたら、なりそうもないことが出来る
んです。やらなきゃいけないことは、力を合わせてやるべきだと思
います。絶対に必要なことは、後々やってよかったねと言
うことになりまし、とても貴重な体験になります。そうした出
会いを作っていた方々、支えていただいた皆様に感謝するところ
です。

一人では何もできない私ですが、色々な多くの人による気付きや、教
えや、叱咤激励によって今があります。その元はJCであったり、ロータリー
であったと思います。奉仕はお金では買えないものです。

ロータリーはこれまで「ポカ根絶」という世界的な挑戦に取り組ん
できました。仲間と力を合わせれば世界を大きく動かすことができる。
その経験は、今も私たちに大切なことを教えてくれています。

今の世界では、戦争や紛争のなかで食べ物もなく、病気を治す薬も
なく命を落とす子供たちがたくさんいます。そんな子供たちを一人
でも救うため私たちロータリアンは思いを共有し、地域から世界へ
と平和と支援の大切さを広げていくこと。そして募金や支援物資の
提供、教育や医療のサポート等々小さな行動を積み重ねていくことが
大きな支えになります。

何より大切なことは「子供の命を守りたい」という気持ちを持ち
続けること。ロータリアンの奉仕の心はその気持ちを形にしてく
れるものだと思います。

これから事業は佳境を迎えます。10月には米子での地区大会、
同月のポカ月間には元々5クラブ合同の募金活動が予定されて
います。来年の3月のIM、さらに出雲南クラブ65周年、出雲
中央クラブ35周年の記念式典、そして6月には台湾での世界
大会もございます。まことに意義深く心に残る1年になること
でしょう。

結びに、皆さまのご健勝と貴クラブのご発展を心より祈念申し上げ、
私の挨拶とさせていただきます。

本日はご静聴賜り誠にありがとうございました。

■■■■ 池淵俊雄ガバナー補佐 クラブ協議会 ■■■■

